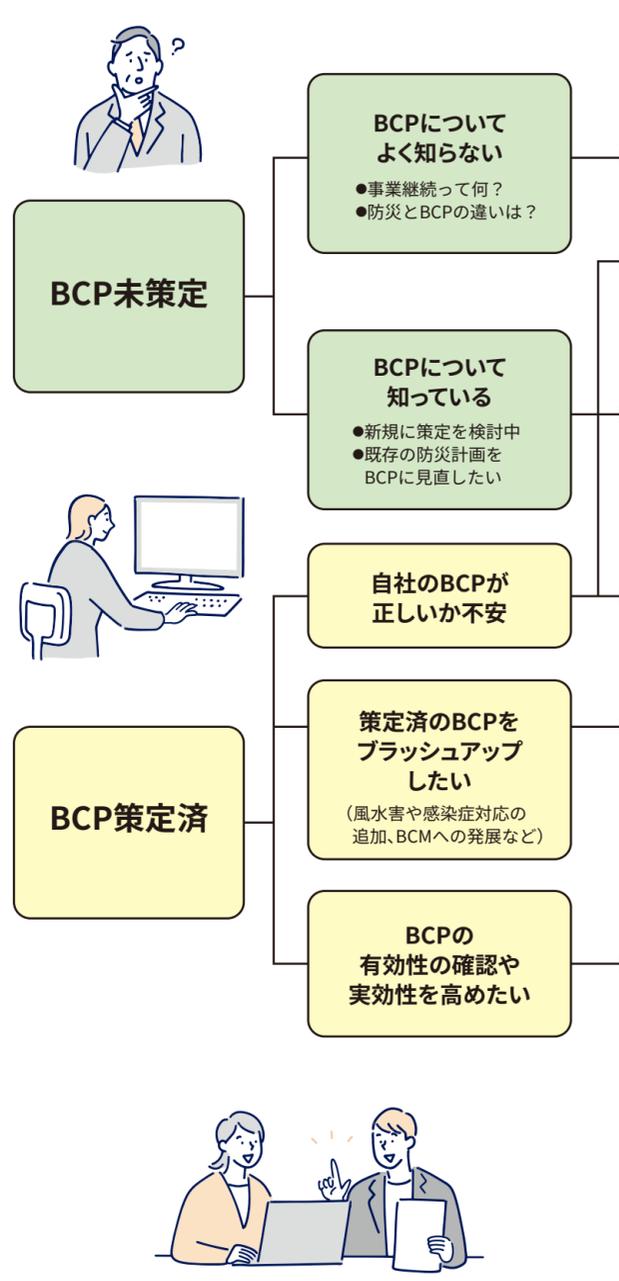


# 危機や災害に強い・負けない企業づくり レジリエンス向上プロジェクト



## 1 知る

### BCP啓発セミナー

BCPの目的、意義等の必要性、策定を進めていくためのポイントや、防災との違いについてわかりやすく解説します。  
※全回、オンライン併用

**主な内容**

- 事業継続とは？
- 防災とBCPの違い
- BCP策定のポイント
- 地震対策としてのBCPからの脱却
- BCMの重要性
- BCP発動事例(地震、風水害、感染症、大規模イベント)のご紹介等

BCM (Business Continuity Management) : 事業継続計画を策定し、断続的に運用していく活動や管理の仕組み(社内教育、検証演習、BCPのメンテナンス(維持・更新)等)のことです。

### 観光レジリエンスセミナー

昨年11月に宮城県仙台市で「観光レジリエンスサミット閣僚級会合」が開催され、日本を含む参加国が共同声明として「仙台声明」を採択しました。▲詳細はこちら

- 本声明により、今後、観光関連事業者(観光業、宿泊業、飲食業、交通機関など)における防災とBCPの取組(観光レジリエンス)を進めていくことが確認されました。
- 本セミナーでは、観光関連事業者に求められる具体的な取組(防災(災害時の観光客への情報発信や訪日外国人への対応等)や、地域継続計画(観光地域の事業者が連携し、事業継続に取組むこと等)、他にも観光関連事業者が必要とされる取組)についてわかりやすく解説します。

※オンライン併用

## 2 策定する

### BCP策定講座(1日受講コース)

全様式を網羅する本格的なBCP策定の1日受講講座です。参加企業各社の事業内容や組織規模、立地環境を踏まえた“使えるBCP”を策定することが出来ます。また中小企業庁の事業継続力強化計画の認定に必要な内容を網羅しています。BCPを策定することで、社内・社員の安全・安心を高めるだけではなく、取引先からの信頼向上につながります。

**こんな企業・事業者におすすめ!**

- 新規にBCPを策定したい
- 既存の防災計画をBCPに見直したい
- 既にBCPを策定済みで、ブラッシュアップを図りたい(地震や風水害対策としてのBCPからの脱却、BCMへの発展等)
- 自社のBCPに必要な要素が網羅されているか確認したい
- 事業継続力強化計画の認定を受けたい

**主な内容**

- 1 事業継続の対象事業を選定
- 2 対象事業における事業影響度分析
- 3 対象事業におけるリスクアセスメント
- 4 分析・評価結果に基づくBCP対策の検討と導入
- 5 BCPとして文書化
- 6 BCPに基づく演習と見直し
- 7 BCPの運用を行う(BCM)

**参加特典**

- 参加者には、専門コンサルタントが作成した「BCPのひな型」\*、「BCP策定のポイント集」を提供
- ※BCPのひな型:事業継続方針、事業継続計画書、初動・復旧対応手順書、BCP事務局運営手順書、新型インフルエンザ等感染症対応手順書
- 専門コンサルタントによる、相談窓口が利用可能
- BCP検証演習(机上・実動)への参加が可能

### BCP策定講座(半日受講コース)

**こんな企業・事業者におすすめ!**

- 何から手をつければよいか分からない
- コンパクトなBCPを策定したい(単一事業、単一拠点、概ね20名以下の小規模事業者向け)

**参加特典**

- ダイジェスト版BCPのひな型を提供(事業継続力強化計画の認定に必要な内容は網羅されています)
- BCP検証演習(机上・実動)への参加が可能

※1日受講コース、半日受講コース両方を受講することも可能です。(内容は一部重複します)  
※全回、オンライン併用

※セミナーに参加してなくても、ご参加可能です。  
※ひな型については、当日に加工可能なデータもお渡しします。ノートパソコンをお持ちいただけますと、ワークショップでの作業が可能です。  
※ひな型等資料の、他社への譲渡・提供は禁止しています。

## 3 検証する

### BCP検証机上演習

BCPの有効性を確認し、実効性を高めることを目的とした机上演習(ワークショップ形式)を実施します。これは職場で行う消防訓練とは異なり、災害等の緊急事態が発生した状況を想定したシナリオに基づき、「BCP対策本部」の運営を机上で行うものです。演習は、自社に身近な緊急事態となり得る、大規模地震と風水害を想定した演習を行います。

**主な内容**

- 地震編:シナリオ体験型演習
- 風水害編:タイムライン演習

**共通**

- 自社のBCPにおける課題(組織体制、役割と責任、対応手順など)の洗い出し
- BCM構築に向けてのアドバイスを提供

**目的**

- 脅威を疑似体験することで、BCPの必要性を体感
- 災害等により発生した緊急事態において、BCPでのあらかじめ定められた対応が円滑に実施できるかの確認
- 策定済みBCPにおける課題の洗い出し

**効果**

- 復旧力・対応力(レジリエンス)の向上
- 今後のBCPの見直しとBCM活動の方向付け(対象事業や対象脅威の拡大等)
- 脅威を疑似体験することによる、BCP意識の向上
- BCM構築に向けた社内の体制づくり

### BCP検証実動演習

BCPの有効性を確認し、実効性を高めることを目的とした実動演習を実施します。これはBCP検証机上演習とは異なり、災害等の非常・緊急事態が発生した状況を想定したシナリオに基づき、「対策本部の運営」や「被害状況の確認」などの初動対応を実際に行うものです。演習は、県が用意した施設を使用し、参加者の皆様にはその施設に所在する架空の会社の従業員として、発災直後から適切な行動を起こすことが出来るか体験・検証して頂ける内容となっています。

**主な内容**

- 災害発生時の適切な行動に関する知見を取得
- 自社のBCPにおける課題(組織体制、役割と責任、対応手順など)を洗い出し
- BCM構築に向けてのアドバイスを提供

**効果**

- 復旧力・対応力(レジリエンス)の向上
- 今後のBCPの見直しとBCM活動の方向付け(対象事業や対象脅威の拡大等)
- 脅威を疑似体験することによる、BCP意識の向上
- BCM構築に向けた社内の体制づくり

令和元年から広島県が開催しているBCP策定講座にご参加いただいた企業のみが対象となります。

### リスクマネジメント研修

リスクマネジメント(リスク管理)とクライシスマネジメント(危機管理)の違い、リスクマネジメントにおける事業継続計画(BCP)の位置付け、具体的なリスクマネジメント手法(リスクの特定・分析・評価・対応など)について解説し、組織のリスクマネジメント能力を向上させるための講座です。

### BCM事務局研修

平常時における効率的かつ実効性の高いBCM事務局の運営方法や緊急時に備えた各種ツールの使用方法等を解説し、各組織が事業継続マネジメント(BCM)を実践出来るよう、BCM事務局担当者を育成するための講座です。  
※オンライン併用

令和元年から広島県が開催しているBCP策定講座にご参加いただいた企業のみが対象となります。

## 出張型 グループ・サプライチェーンBCP講座

～専門コンサルタントによる出張セミナー・策定講座・演習～

企業、組合、団体等の依頼に基づき、企業グループやサプライチェーン構成企業を対象としたセミナー・策定講座・机上演習に専門コンサルタントを派遣します。ご要望にあわせてテーマ・組み合わせで実施します。

企業グループやサプライチェーン内でのBCP・BCMの普及が進むことで、自社のBCPの実効性向上につながります。

パートナーシップ構築宣言における宣言事項の1つである「取引先のBCP策定支援」につながります。  
※パートナーシップ構築宣言については裏面参照

**【留意事項】**

- ※10社以上でのご利用を想定していますが、それ以下でも対応可能な場合もありますので、ご希望の方は広島県商工労働局中小企業支援課にご相談ください。
- ※講師謝金・交通費は広島県が負担します。
- ※参加者への周知、会場の用意、当日の運営は依頼主様でお願いします。また、広島県と参加実績の共有をお願いします。
- ※実施予定日の2か月前までにお問い合わせください。
- ※多数のお申込みをいただいた場合は、年度途中で受付終了とする場合があります。
- ※ご希望の日程によっては対応できない場合もありますので、予めご了承ください。

**これまでの事例**

### 株式会社 中電工

業種/建設業  
本社/広島市中区  
設立/1944年  
事業概要/電気・空調・給排水・情報通信などさまざまな快適設備を提供する総合設備エンジニアリング企業

当日のスケジュール

- BCPセミナー(30分)
- BCP策定講座 中電工協会向け(2時間30分)

参加者数 19社 32名

**ご担当者様からの一言**

当社で公表しているパートナーシップ構築宣言のなかで「取引先のBCP策定の助言等の支援を進める」とあり、どのように対応すべきか考えていたところ、広島県からBCP策定等支援事業の支援をいただき、今回の中電工協会向けBCP策定講座が開かれる運びとなりました。今回を機に、協会の皆様にはBCPを策定いただきたいと思います。  
[総務担当課長]

自身の被災経験から、インフラ復旧にあたる事業者の皆さんには、BCPの必要性を感じているし、中小企業の皆様にBCPの知識は有益な情報であると思っています。また、事業継続力強化計画を申請することで財政的なメリットもあるようなので、そのような恩恵も協会の皆様に受けていただきたいと思います。  
[中電工協会 統轄局長]

**参加者の方からの感想・ご意見**

今回のセミナーに参加して、BCPを策定する意義、必要性を確認することができました。どのように策定を進めていくべきか悩んでいましたが、今回いただいた資料を基に、最初から完璧を目指さず、策定に向けて着手していきます。